

雨の強さと降り方(1時間降水量)

①やや強い雨 (10～20mm未満)

ザーザーと降る。雨の音で話し声がよく聞き取れない。地面からの跳ね返りで足元が濡れ、地面に水たまりができる。長く降り続くときは注意が必要。



②強い雨 (20～30mm未満)

どしゃぶり。傘を差していても濡れる。寝ている人の半数くらいが雨に気付く。ワイパーを速くしても見えにくく、側溝や下水、小さな川があふれ小規模の崖崩れが始まる。



③激しい雨 (30～50mm未満)

バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようになり、高速走行時は車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。山崩れや崖崩れが起きやすいため、危険地帯では避難の準備が必要。



④非常に激しい雨 (50～80mm未満)

滝のように降り、地下に水が流れ込む。傘は役に立たない。水しびきで周囲の視界が悪くなるため車の運転は危険。マンホールから水が噴出し、土石流が起こりやすい。



⑤猛烈な雨(80mm以上)

息苦しくなるような圧迫感がある。雨による大規模災害が発生する恐れが強い。



雨に関する気象情報の入手方法

高解像度降水ナウキャスト

3時間前から現在の雨の状況と1時間先までの予報を確認でき、雷やアメダスによる雨量なども表示されます

気象庁ホームページ…<http://www.jma.go.jp/jp/highresorad/>

エクスクレイン ジス XRAIN(GIS版)全国概況画図

局所的な雨量をリアルタイムで確認できます

国土交通省ホームページ…<http://www.river.go.jp/x/xmn0107010.php>

市からの情報

ケーブルテレビ・メール配信サービス・市ホームページ・防災ラジオ・巡回広報などにより防災情報をお伝えします

メール配信サービスの登録方法

①携帯電話やパソコンから登録用メールアドレスへ空メールを送ります

登録用メールアドレス…e-takahashi@xpressmail.jp

②携帯電話やパソコンに利用者登録をするためのアドレスが返信されます

③利用者規約を確認の上、配信を希望する情報を選択し登録を行ってください

配信される情報

○気象情報

- ・特別警報(数十年に一度の大雨などが予想された場合) ・警報(暴風雪・大雨・洪水・暴風・大雪)
- ・注意報(大雨・大雪・風雪・雷・強風・洪水・融雪・濃霧・乾燥・なだれ・低温・霜・着氷・着雪)
- ・その他(地震情報・竜巻注意情報・土砂災害警戒情報・記録的短時間大雨情報・スモッグ気象情報)

○防災情報(避難勧告等避難情報や災害による通行止情報など)

○防犯情報(不審者情報など) ○火災情報(火災発生と鎮火の情報) ○その他情報(行政情報など)



高解像度降水
ナウキャスト



エクスクレイン
XRAIN
全国概況画図



メール配信サービス

自主防災組織

「自分たちのまちは自分たちで守る」という心構えで、地域で自主的に防災活動を行う組織のことです。市内にはコミュニティなど15団体が活動しています。大規模な災害発生時には、市・消防署などが十分に対応できない可能性があり、そのような場合に力を発揮するのが地域の協力体制です。自主防災組織を結成して災害に強い地域をつくりましょう。



自主防災組織の主な活動内容

平常時の活動
地域住民への防災知識の普及／防災
巡視・防災点検／防災資機材の整備
／防災訓練

災害時の活動

情報収集伝達活動／初期消火活動／
避難誘導活動／救出救護活動／給食
給水活動

※市は、自主防災組織の活動を支援するために「高梁市自主防災組織活動促進事業補助金」制度を設けています。詳しくは総務課へお問い合わせください。

防災

6月は梅雨の季節

雨による災害に備えましょう

今年も梅雨のシーズンがやってきます。この時期は梅雨前線に伴う豪雨により、全国各地で多くの災害が毎年発生しています。被害を防ぐため、日ごろの備えをしておきましょう。

☎総務課(21)0209

大雨のときの行動

大雨の予報時や雨が降り続けているときは…

防災ラジオ・テレビ・メール配信サービスなどで最新の気象情報入手しましょう。

気象警報が発表されたら…

大規模な災害が発生する危険性が高くなります。川や急傾斜地など危険な場所に近づかないようにしましょう。

※大雨のときに発表される気象警報には、「大雨警報」「洪水警報」「土砂災害警戒情報」などがあります。また、数十年に一度の大雨のときは「大雨特別警報」が発表されます。

防災マップを活用するなどして、避難場所を確認しておきましょう



市ホームページ

「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたら…

避難勧告が発令される可能性があります。避難ができるように準備し、避難に時間がかかる人は早めに行動しましょう。

「避難勧告」が発令されたら…

速やかに避難を開始してください。道路の冠水などにより避難が危険な場合は、屋内の高い場所に待避してください。

※危険な状況が続くと、「避難指示(緊急)」が発令される場合があります。



大雨により道路が崩れる(平成25年9月)